

「小郡市ふるさとスポーツ大使」に プロサッカー選手・猶本光さんが就任！



「大使に選ばれてとても光栄。自分の挑戦や活躍を通じて
地元の皆さんに元気を与えられたら」(猶本光選手)



昨年までドイツリーグでプレー

昨年12月29日、小郡市出身のプロサッカー選手・猶本光さん(のぞみが丘小学校出身)の「小郡市ふるさとスポーツ大使」任命式が小郡市陸上競技場で行われました。ふるさとスポーツ大使への就任は、阪神タイガースの中谷将大選手に続いて2人目。今後猶本選手には、小郡市の情報発信とスポーツ振興にご協力いただきます。

今年から活動の拠点をドイツから日本に移し、東京オリンピック出場をめざして日々練習に取り組む猶本選手に、小郡や未来のアスリートたちへの思いを聞きました。



任命式後、小学校時代に所属していたFC Lietoのメンバーと練習試合



猶本 光(なおもと ひかる)

1994年3月3日生まれ。25歳。のぞみが丘小学校1年生の時に「小郡東野少年サッカークラブ」でサッカーを始める。福岡J・アンクラス、浦和レッズレディースなどに所属し、2010年U-17W杯では日本の準優勝に貢献。2014年には日本女子代表「なでしこジャパン」にも選出。筑波大学大学院修士課程修了後の2018年より所属していたドイツ女子1部・SCフライブルクを退団し、今年から活動の場を国内に移す。ポジションはMF。



小郡で過ごした子ども時代。福岡小郡ハーフマラソンに出場したり、「みくにつこ劇団Rainbow-Kids」の公演に出演したことも。

ふるさと小郡への思い

——小郡市ふるさとスポーツ大使への就任おめでとうございます。早速ですが、サッカーを始めたきっかけを教えてください。始めたのは小学1年生の時。兄がサッカーをやっていたのがきっかけでした。何でも兄のまねをしていたんです(笑)。

——初めて所属したチーム・小郡東野少年サッカークラブでの思い出はありますか？いろいろなことを学びました。一番ありがたかったのは、年齢ではなく「何ができるか」を見てくれたこと。小3のときに小6の試合に出してもらったりもしましたんですよ。

——猶本選手にとって「ふるさと小郡」とは？

家族がいて友達もいる、心から安心できる場所ですね。あと帰ってきて思ったのは、とても星のきれいなまちだということ。昨夜ふと空を見上げたら一面の星空でびっくりしました。この陸上競技場もいろいろな思い出があつて好きな場所ですね。

——小郡市は七夕神社のある「七夕の里」。猶本選手はSNSで活発に情報発信をされていますよね。ぜひ星のきれいなさとあわせて「七夕の里おごおり」をPRしてください。

アスリートをめざす子どもたちへ

——スポーツをしている子どもたちへアドバイスをお願いします。

とにかくスポーツを好きになつて楽しんでほしい。子どもに限ったことではないですが、何ごとにも楽しくないと続かないです。



それから、できるだけ外に出て遊び、体を動かす習慣をつけてもらいたい。そういうことができる環境づくりも大事だと思います。

——海外移籍も経験。いろいろな経験や挑戦をすることについて。

私の場合は、サッカーがなければ「海外に行つてみよう」とはならなかったんじゃないかな。好きなことのためなら頑張れるし、何でもトライできる。サッカーを通してさまざまな経験や挑戦ができ、結果的に視野が広がったという感じです。

——スポーツ以外にも通じることですね。好きなことに打ち込んでほしいのはもちろんですが、一方で、勉強や他のことをおろそかにしていると結局サッカーも伸びない。中学・高校のときによく言われたのは、「45分の授業に集中できない人は試合にも集中できない」ということでした。何かに向き合うときの態度はすべて繋が

っていて、たとえば物を雑に扱う人はやはりプレーも雑になる。日頃の生活やありとあらゆることへの態度がグラウンドに出るという意識が大事だと思います。

オリンピックへの挑戦 そしてふるさとスポーツ大使として

——最後に、小郡市ふるさとスポーツ大使としてやってみたいことはありますか？

時間と機会があれば、子どものサッカー教室を開いてみたいです。

——今後の目標は？

東京オリンピックのメンバーに入ること。メンバーに入るだけではなく、活躍したいです。また、今後の所属チームが決まったら皆さんにご報告したいと思います。

——私たちもオリンピックの大舞台での猶本選手の活躍を期待しています。頑張ってください。

猶本選手が「広報おごおり」に登場するのは実は今回が二度目。一度目は10年前、AFCUの女子選手権大会の出場報告の表敬訪問でした。

なでしこへの夢を語る猶本選手の笑顔がまぶしい広報おごおり平成21年12月1日号「まちの話題」は、市ホームページのバックナンバーでご覧いただけます。

